



平成 26 年度
祝 第67回卒業式
 伊是名村立伊是名中学校

今月号の主な内容
 平成27年度 施政方針
 史劇「尚丹王〜松金がゆく〜」西原町凱旋公演!!
 平成27年 本部置定例表彰
 伊是名漁協「マズメ」操業始まる

広報 IZENA

いぜんま

伊是名島イメージキャラクター
尚丹王

歴史の島 自然の宝庫 ハブのない伊是名島



伊是名	仲田	諸見	内花	執理客	計	先月比
男 162	198	261	102	101	824人	-1
女 158	205	183	86	100	732人	-1
計 320	403	444	188	201	1,556人	-2
世帯数 164	223	237	87	87	798	2

村の人口【計 1,556人】平成27年2月28日現在

平成27年
 No.529
4

村のホームページ
<http://vil.izena.okinawa.jp>

平成27年度 施政方針



伊是名村長
前田 政 義

平成27年第1回伊是名村議会定例会にあたり、平成27年度の村政運営に関する所信を申し上げ、議員の皆さま並びに村民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年の村長選挙におきましては、伊平屋・伊是名架橋建設、尚円王生誕600年祭、教育環境整備策をはじめとする公約に、村民の皆さまのご信任を賜り、第21代伊是名村長に就任させていただき四期目を迎えましたことに、心から感謝を申し上げます。

これまで、三期12年の間、村民の皆さまから村政運営を託していただき、公約の一つ一つの実現に全力で取り組んでまいりました。今後とも行政改革、農漁業関係施設の整備、交通網の整備、観光関係施設整備、教育関係事業等を推進することにより、多くの村民が活力にあふれ、希望のもてるむらづくりをお示しし、このむらに愛着を持ちこれからも住み続けたいということが実現できるむらづくりに取り組むことこそが私の使命だと考えております。

国においては、昨年から長期にわた

るデフレと景気低迷からの脱却をめざし、積極的な景気対策が講じられ、日本経済は景気回復に向け大きく動き出しました。世界的な祭典であるオリンピック、パラリンピックの2020年東京開催など、これまで緊縮財政政策で抑制していた大型公共事業の増加や金融緩和策により、経済政策は大きく方向変換することになりました。しかしながら景気回復の兆しは見えつつも、まだまだ予断の許さない経済動向であると考えます。

沖縄県では、平成24年に沖縄21世紀ビジョン基本計画が策定され、その施策実現に向けて取り組んでいるわけですが、昨年は観光産業が好調に推移し、入域観光客数700万人を突破する勢いとなりました。2020年の那覇空港新滑走路開港に向け、観光客1000万人時代に対応可能なインフラの整備、情報化への備えを着実に進められています。

このような社会情勢にあつて、本村においても、製糖工場新築工事、中学校舎新築工事、フェリー代替新造船の建造等大型公共工事を推進している

ところであります。これらの社会資本を整備することによって、経済の活性化、福祉向上等をはじめ住民サービスの向上に大きく寄与するものと期待しています。

次に、村政運営について申し述べたいと思います。

本村の人口は若年層の減少とともに少子高齢化が進み、村経済発展の阻害要因となっています。このような状況を踏まえ、地域活性化を図る方策として、交流事業や六次産業を誘発する等、中長期的に村外から人を呼び込むことにより、村経済に潤いをもたらすものと考えます。

現在、本土からの高校生体験修学旅行生の入村が6千名を超えるほどまで実績を上げ、さらに、三種類のモータースポーツの開催等の誘致活動により、様々なかたちで交流が図られています。スポーツや文化交流の推進は本村の地域振興の起爆剤として、様々な形で交流事業を推進してまいります。

財政の健全化においては、長年にわたり公債費比率が30%を超えた状況に

ありましたが、行政改革や全庁あげての経費の節減等に取り組んだ結果、平成25年度決算においては、公債費比率8%台まで削減し、標準並みの財政状況になりつつあると思います。しかしながら、経常収支比率が異常に高いことから財政の硬直化は依然として続いておりますので、引き続き財政の健全化に努めると同時に効率のよい行政機関の改革に取り組んでまいります。

村内では生産年齢人口が減少していく中で、少子高齢化はますます進展していく状況にあります。若い夫婦が出産・子育てに不安を感じていることは何かを考えますとき、子供を産み・育てやすい環境づくりを支援していく必要があり、ひきつづいて、妊婦健康診査時の渡航費の負担軽減や乳幼児の健康維持のための手厚い支援策を講じてまいります。

また、全国的にも保育士の確保がきびしく、本村においても、入所希望者をすべて受け入れることができず、待機を余儀なくされた状態が続いておりますが、4名の保育士を採用予定とし、待機児童解消に努めてまいります。今後とも、充実した保育所運営に努めてまいりたいと思います。

近年、本村でも、高齢化社会の問題が見受けられるようになってきています。介護施設の入居者、入居待ちの方が年々増加傾向にあり、また、加齢するにつれ様々なリスクが高まり病気や怪我の要因となる場合があります。さらに、加齢に伴い介護保険や国保負担による治療費の高騰につながっていきます。このような高齢化問題に、正面から立ち向かっていかなければならないと痛感しています。

本村においては、幼児、児童、生徒が少なく上、保育所や小学校、中学校を卒業するまで一学年一学級で学校生活を送っているため、競争心や自己研鑽意識が希薄になりがちとなり、学力向上にも影響しているように思われます。また、離島であるために教育機会が欠落してはいないか、多様性に富んだかつ高度な教育に触れる機会は少ないのではないかと懸念しているところがあります。

このような中、家庭、学校、地域、村が一丸となつて、離島で生まれ育つたということがハンディーにならないように、将来の伊是名村を担う子どもたちの健やかな成長を支えるための「人づくり」の施策に取り組んでまいります。

今年、琉球王国第二尚氏王統を興した尚円王生誕600年という慶賀を迎えています。

先人が代々保護・保存・継承してきた王朝ゆかりの歴史、文化、民俗、重要文化財などを整備点検して、子々孫々に伝えることは大変重要な課題であります。同時に偉大な王様尚円王生誕の島伊是名島を全国に発信していくことが、本村の振興発展に寄与するものと考えます。

この歴史的節目に、本村の舵取り役を託していただいたことに対し、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いが致します。

次に、平成27年度の主要施策について申し上げます。

■平成27年度主要施策

1. 地域活性化の推進について

島に住んでいる人には思いつかない斬新な視点を持った人やある特殊技能の持ち主で、都市地域から離島過疎地域に住んでみたい、さらに、しまおこしに参加・従事したい人を募って、観光プログラムの作成や観光施設の運用、その他地域力の維持・強化を図るため、地域おこし協力隊推進事業に取り組んでまいります。

近年、国全体の少子高齢化の進展と地方における人口減少に歯止めをかけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力のある社会

を維持することが課題となっております。安心して生活ができるような地域社会を形成することや地域社会を担う人材の育成・確保、就業機会の創出の推進を図るため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や地方創生関連事業の円滑な実施に取り組んでまいります。

2. 尚円王生誕600年祭について

昨年から尚円王生誕600年祭プレイベント事業を展開し、600年祭を盛り上げているところですが、今年（2015）は尚円王生誕600年記念事業として建造しているフェリーの就航記念式典をはじめ、この一年かけて記念祭の事業を実施してまいります。西原町において史劇「尚円王」松金がゆく」の上演、600年祭記念式典、尚円王をキーワードにした各種交流事業の開催や本村の歴史、伝統文化を全国に発信し、地域振興発展を図ってまいります。

4. 伊平屋・伊是名架橋建設計画の取組について

宮古島市「伊良部大橋」が、今年1月31日に完成し、開通しました。「夢物語」と言われ、離島苦解消のために始まった長年の要請活動が実を結んだ宿願の成就といえると思います。

これまで休眠状態であった「伊平屋・伊是名架橋建設計画」が、にわかには村民の中に、醸し出されつつあります。去年3月に、両村架橋建設促進協議会を再発足して、沖縄県知事・県議会議長を要請、また、協議会活動資金造成には村郷友会のご厚意によりチャリティーゴルフ大会を実施しました。今後、引き続きつづいて本格的にその実現に向けて取り組んでまいります。

5. 産業の振興について

本村の農業は、耕作従事者の高齢化や農業人口の減少、作目もさとうきび作一辺倒が多くを占め、農業収益が低い状況にあります。そのため、依然として農業離れが続いており、その対策が急務であります。今年度は新規就農者の掘り起こしとして、新規就農者確保事業を導入し、青年新規就農者の確保と育成に取り組んでまいります。また、土壌の有機質成分不足による土壌づくり対策として、沖縄本島から堆肥を購入して安価な堆肥を農家に供給することにより、土づくりの促進と生産

3. 行財政改革の推進について

財政状況は、歳入においては約1割が村税等の自主財源、約9割が地方交付税等の依存財源に頼っています。歳出においては人件費、公債費、扶助費がほとんどを占めていますが、人材の登用や事業の優先順位等を検討し、その義務的経費の削減に努め、財政の健全化に取り組んでまいります。

性の向上を図ってまいります。

畜産業の振興については、一括交付金を活用して優良繁殖牛の購入費用を9割助成するなど農家負担の大幅軽減に努め、品質の優れた子牛の生産を奨励することにより、畜産農家の生産意欲を高めて経営安定化を支援するため、本年度もひきつづき取り組んでまいります。

伊是名漁港海岸の整備については、集落付近の海岸では浜辺の砂の流失が激しく、景観も損なわれつつある状況にあります。また、台風時には水位が上昇し、集落内への海水の浸入や飛散があり、道路の損壊や住宅の塩害等の被害が見受けられるため、地域住民が安心して暮らしていくために、伊是名漁港海岸の整備を図ってまいります。

6. 教育の充実について

教育行政については、平成27年4月1日から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正施行されることに伴い、新たに総合教育会議の設置や大綱の策定等、これまで以上に協議・調整を重ねて、教育委員会制度の抜本的改革に取り組んでまいります。

幼児教育は、人の一生において人間形成の基礎を培う最も重要なことで、保育所や幼稚園がこれを担い、こども

園創設を検討していくとともに、就学前保育・教育の充実した運営に努めてまいります。

学校教育については、老朽化、耐震性不適と診断された中学校校舎の新築工事を進めており、本年度中に落成することになっていきます。より安全で快適な学習環境づくりに努めます。さらに、学校外での学習を支援するため村営の学習塾の開設や高校進学のため親元を離れた高校生への修学支援もひきつづき行ってまいります。

小・中学生が他地域において、歴史・文化や生活習慣を見聞し、交流体験学習する機会づくりのための少年の翼、海外短期留学事業、スポーツ交流事業などをひきつづき実践し、人材育成に努めてまいります。

7. 文化とスポーツ振興について

文化の振興につきましては、地域の郷土伝統芸能の後継者づくりやその保存活動を奨励し、支援に取り組んでまいります。

今年度は、沖縄県マスターズバレーボール大会を誘致して、児童バレーボールクラブや愛好者へ参加を呼びかけ、或いは観戦していただき、スポーツの楽しさを味わう機会づくりとし、同時にその振興を図ってまいります。また、場外離着陸場を利用してドリ

フト、ジムカーナ、ドラッグレースのモータースポーツの誘致促進を図り、スポーツ交流を推進します。

8. 福祉の充実について

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、運動機能や栄養状態といった心身機能の改善を図り、地域社会への参加を促すことにより生きがいのある生活を実現するために、独居老人の安否確認や介護予防事業の実施、配食サービスにより介護予防を支援してまいります。

保育環境の充実については、安心して子供を産み育てられる地域社会を構築するため、保育士を増員して待機児童の解消に努め、さらに、子育て支援法等に基づく新制度等に取り組んでまいります。

9. 保健、医療の充実について

村民が健康的にいきいきとした生活を送るために、各世代に応じた健康づくりを推進します。特定健康診査の受診率の向上、メタボの減少や各種健康づくりイベント等を開催し、保健指導や生活習慣病対策を推進してまいります。

国民健康保険については、村民が安心して医療を受けることができるよう

保険料の収納率の向上に努め、さらに、健康増進啓蒙のため健康フェアを継続開催して医療費の抑制を図り、保険事業の健全化に取り組んでまいります。

10. 生活環境について

一般廃棄物処理については、各家庭から分別されたごみを収集し、焼却・リサイクル処理をして循環型社会構築に努めます。

簡易水道事業は、「安心・安全な水道水を将来にわたって安定的に供給できる水道の構築」を図るため、沖縄県の水道広域化の推進に向けた事業に取り組んでまいります。

わが国の主要なエネルギー源は、石油、石炭などの化石燃料に依存しています。水力や太陽光などの再生可能エネルギーは5%前後といわれ、まだまだ低い利用状況にある。化石燃料は限りがあり、また、二酸化炭素を排出するので地球温暖化の原因となっている。これらのことから、公共施設等に太陽光発電施設を設置し、災害時の停電への備え、施設の維持管理費の低減を図ってまいります。

11. 交通・通信体系の整備について

本村における陸上交通は、自家用車での移動が主であり、交通弱者や観光

客にとっては、公共交通がない不便な状態である。公共交通の確保について、持続可能な方策の調査検討に取り組んでまいります。

海上交通については、今年の7月就航予定のフェリー代替船は、定員500名、総トン数900トンの設計で進め

ており、より大型船となりますので、船舶の安定運航、利便性、輸送力の向上が図られます。これらのことにより、修学旅行生300名以上の大規模校の受け入れも可能となり、誘客活動をより一層強化して、村入域客の増加促進を図り、航路会計の健全化に取り組んでまいりますと考えています。

情報通信の整備については、通信速度及び安定性、行政情報等の運用やサービス提供の効率化を図るため、北部連携促進事業により北部広域ネットワーク情報通信基盤が整備されましたので、その利活用の普及と運用に努めてまいります。

12. 産業基盤の整備について

道路の整備については、県道は、仲田伊是名線及び諸見勢理客線の維持補修を推進するとともに、安全走行のため道路照明施設や標識・表示を整備します。

村道については、城前田線、南風原線、チマイ線を引き続き整備を進め、新規にチヂン線の路線変更と整備を実施してまいります。

港湾整備については、仲田港の静穏度対策や旧バス付近の台風災害による破損箇所や港口付近の沖防波堤の損壊箇所などの改修は、ひきつづき国や県に要望してまいります。

また、勢理客漁港における仲田港の緊急補完機能を持つバス整備については、県に折衝しているところであり、新規採択できるよう努めてまいります。

13. 消防救急体制について

消防体制については、火災や水難事故等の緊急時への迅速な対応をするた

め、災害や防火意識の高揚並びに消防団員の育成強化を図り、救助体制を強化します。また、災害現場と役場間はデジタル化無線方式の導入、消防119番通報を受理し出動指令を担当する沖縄県消防共同指令センター（仮称）が嘉手納町に整備されますことを受けて、緊急出動指令業務が迅速・的確に実施してまいります。

急患搬送については、医療関係機関や自衛隊ヘリ、ドクターヘリ及びメッシュサポートヘリと連携・協力し、救急医療と搬送体制の充実に努めてまいります。

14. 防災対策と村土保全について

防災対策については、伊是名村地域防災計画の大規模地震・津波を想定した見直しを行い、災害からの避難誘導や救助対策に取り組んでまいります。

村土保全については、ひきつづき仲田港高潮対策、養浜整備事業や伊是名漁港周辺の保全整備に取り組んでまいります。

以上、平成27年度における施策の概要について申し上げますが、議員各位をはじめ、村民の皆さまのなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の施政方針と致します。



史劇「尚円王 ～松金がゆく～」西原公演 ハイライト集

2015年3月22日(日) さわふじ未来ホール (2回公演/昼1時/夕方4時開演)



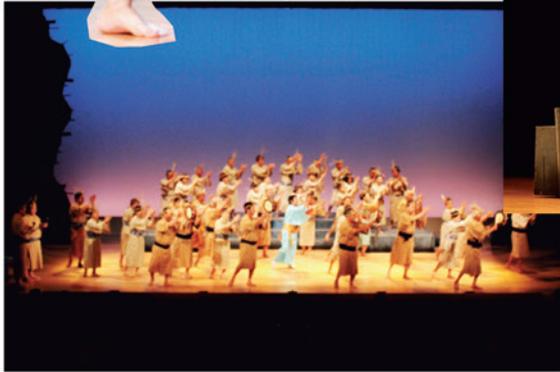
尚円王生誕600年記念で西原町凱旋公演!!

史劇「尚円王まちな松金がゆく」西原公演

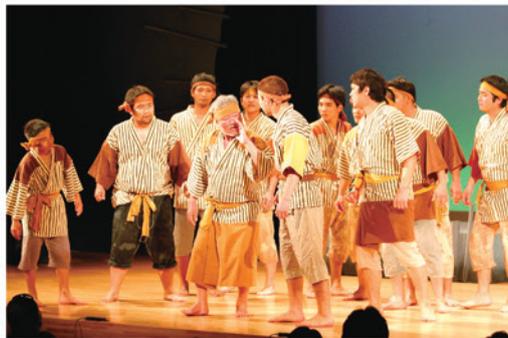
ユーモア溢れる小・中学生の演技に拍手喝采。
2回公演に一千名余が観劇。同時開催特産品フェアも大盛況。



本番前に気合いを入れるみうらコーチと出演者。



ティルクグチ



ロビーでは伊是名特産品フェアを同時開催。特産物を求めて多くの人が詰めかけた。

平成19年3月の初回から第8回目となる、伊是名島歴史ロマン舞台村民劇「史劇「尚円王」松金がゆく」の公演が、3月22日(日)西原町さわふじ未来ホール(西原町民交流センター内全500席)で開催された。

松金は第二尚氏初代の王となる前に、内間領主(名は金丸)として西原町の内間御殿(国指定史跡)に居住していたことがあり、生誕600年記念公演にふさわしい場所として両町村での調整が進められていた。公演は前売りチケット1,000枚が完売し、1部と2部の2回公演で行われた。

開演にあたり両町村長のあいさつがあり、前田政義伊是名村長は「西原町・伊是名村文化交流事業の二環として開催されたことは大変意義深い。西原町の組踊り『内間御鎖金丸』と本村の史劇『尚円王』松金がゆく」は、文化交流の架け橋として、両町村民が絆を深め親善交流を進める大きな礎になると確信いたします。」と話し、上間町西原町長も「今年は両町村ともに尚円王生誕600年を記念した事業を予定しておりますが、西原町でも西原まつりを通して尚円王の生誕を祝うとともに、尚円王とそのゆかりの地である内間御殿について多くの皆様に知ってもらいたい。また、今後もお互いの記念



感動のフィナーレ。西原町さわふじ未来ホールがテーマソング「七つの橋を架けて」の大合奏となった。



舞台に彩りを添える島の伝統芸能のガーエー。迫力満点だ！



伊是名村郷友会芸能関係団体による



民衆に推されて琉球国王への即位のシーン

事業をとおして交流できる機会があれば幸せに思います。」と交流をとおしてのお互いの振興発展を祈念した。

この日までに、今年1月から始まった稽古はほぼ毎日に行われ、子どもから大人まで過密スケジュールのなかでも、演出家みうらもとおコーチの熱い指導のもとでひとつひとつ仕上げていった。劇が始まると客席からは拍手や笑い声も聞こえるほどで、出演者の演技にも力が入った。これまでのリハーサルなどをとおして、一番の出来をこの日の舞台で披露できたことに、出演者だけではなく鑑賞に訪れた多くの郷友会からも「とても良かった。」「素晴らしかった。」「ガーエーのシーンでは気持ちが高ぶって、最初から涙が出てきた。」などの好評を得ていた。舞台演出をされているという一般の方は「とても趣深く、参考になった。短期間にここまで仕上げられることはすごいと感じた。次の公演はいつですか。」と話すなど、次回公演を期待される方もいた。

みうらコーチはじめ出演者、スタッフ、そして観客の皆様全員で創りあげた西原公演は、成功裏に幕を下ろした。



観光シンポジウム開催

「観光客への」おもてなし」とは

3月6日(金)産業支援センターにおいて、尚田王生誕600年祭関連事業「伊是名島観光コーディネーター育成事業」の二環として観光シンポジウムが開催された。昨年10月から今年2月までの期間に6回の研修を経て、伊是名島における観光の魅力とは何か、ガイドに求められることとはなど、様々な視点から「島の観光」について公開討論が行われた。パネリストからは「自然を説明するのにガイドの余分な説明は必要ない。」「こちらがもてなしでも、相手に伝わらなければ意味がない。」「二方的なおしつけではなく、どのようなニーズが必要とされているか。また、最後は、無事で安全にお帰りくださいの気持ちで送り出すこと



観光の専門家をパネリストに討論が行われた

が一番大事なおもてなし。」など様々な意見が出る中で共通したことは、相手の気持ちになつて考え接すること。研修を受けた比嘉陽子さん(諸見区)は「ガイドを雇う必要はなく、民泊をされている方が文化財などを少し勉強すれば、その説明と一緒に歩いてくれるだけで十分。観光コースは重要で、回る順番(歴史的背景などで)より良くしていけば観光客にも深い印象が与えられると思う。」と感想を話した。討論の後には、島の特産品を使用したレシピと料理も紹介され、民泊事業や今後の観光事業を促進するうえで参考となったことでした。



育成事業関係者で島内を見て回る様子

いぜん88トライアスロン大会 ふるさとキラリ賞

受賞!!

3月4日(水)東京国際フォーラムにおいて、第19回「ふるさとイベント大賞」の表彰式が行われ、各都道府県から推薦された111団体の中からいぜん88トライアスロン大会が「ふるさとキラリ賞」を受賞し、前田村長など関係者が出席した。

「ふるさとイベント大賞」は、地域の個性を活かした独創的なイベントのうち特に優れたものを表彰し、個性豊かな地域社会を実現する大きな力となることを目指して、地方自治法50周年を記念し、平成8年度に創設された。

本村のトライアスロン大会は1988年から始まった島の一大イベントとして、今年で28回目を迎える。これまで村民全員で、選手の受入や応援をおもてなしの心で携わり、選手との交流も長きにわたり続いてきたこと、そして地域振興の役割を担っていることなどが評価されての受賞となった。

共催の株式会社沖縄タイムス社をはじめとする各後援団体協力のもと、何より村民でつくりあげられるイベントとして今後も継続し、さらなる振興発展に期待がかかる。



「ふるさとキラリ賞」を受賞しあいさつする前田村長

土帝君まつり

毎年旧暦2月2日は土帝君祭祀の日で、祠がある勢理客川口原(勢理客区)と諸見の屋部(諸見区、仲田区、内花区合同)において3月21日(土)に行われた。土帝君は農業・稲作の神様として水田の見渡せる場所に祀られており、集まった関係者により、芋の蔓を口にくわえた豚の頭や生きた雄鶏など17種類をお供えし、今年の豊作を祈願した。



関係者が土帝君にあつまる様子(勢理客区)



諸見区長、内花区長、仲田区長による豊作祈願(屋部土帝君)

67期生旅立ちのことばは

「碧郷(せいこう)」



卒業生を花道で見送る

伊是名中学校卒業式～希望あふれる世界へ!!～

3月14日(土)平成26年度伊是名中学校卒業式(第67期)が中学校体育館で行われた。卒業生25名は、参席した教員、保護者や地域の方々に祝福されながら、中学校での最後の行事に臨んだ。

緊張するなか笑顔で入場すると、関係者から拍手で迎えられた。卒業生は金城校長の式辞をはじめ、来賓の方々のあいさつ・祝辞を受けた。PTAを代表してあいさつした上地史修さんは、卒業生がこれまで無事に成長してきたことへの喜びと島立することへの期待を述べると、溢れる涙をこらえられなくなり、自然と会場でも多くの方が涙する姿があった。

卒業生代表の答辞で前田瑠夏さんは「1、2年生の皆さんはこれからもチームワークを大切に、常に感謝の気持ちを忘れず頑張ってください。お父さん、お母さん、15年前に私たちを伊是名島に生んでくださり、ありがとうございます。67期生の一員としてかけがえのない3年間を共に過ごし心から嬉しく思う。たくさん泣き、笑い、怒られたことも全て私の財産です。」と感謝の気持ちを述べた。そして、「俺たちは忘れない 碧く美しい故郷をまた一步踏み出すとき まだ見ぬ希望あふれる世界へ!!」のテーマを背に退場すると、多くの方から激励されつつ学舎を後にした。



(今期糖業データ)

・操業日数	： 72日間	・歩留まり	： 10.08%
・原料処理量	： 15,285t	・産糖量	： 1,541t
・買入平均糖度	： 13.2度	・平均単収	： 4,475kg

平成26年/27年期の製糖操業は平成27年1月15日に全日程を終了した。JAおきなわ伊是名支店(末吉康亘支店長)は、農家の方々をはじめとする製糖関係者を労うため、2月25日(水)産業支援センターにおいて「さとうきび収穫祭」を開催した。
今期(操業72日)の原料処理量は15,285tと前期比650tの増となり、関係者の協力のもと長期間の停止もなく操業できたとの報告があった。祝宴では舞踊等余興やお楽しみ抽選会などで盛り上がった。

平成26年/27年 期

さとうきび収穫祭
JAおきなわ伊是名支店

平成26年度鶴亀運動教室が終了しました!

4月より月1回公民館で開催された介護予防事業「鶴亀運動教室」(委託:NPO法人かなさの会)でがんばって来られた利用者には平成26年度の修了証書が住民福祉課長安里浩亀より授与されました。理学療法士の先生からも、特にバランスにおいて改善されているのでこれからも運動を続けて下さいとアドバイスをいただきました。これからも元気に過ごせるように運動していきましょう!!



今年も田植え一期作の時期となり、恒例となった子ども会の田植え体験が、尚田王ゆかりの「逆田」で行われた。今年も尚田王生誕600年ということもあり、子どもたちも気合い十分かつ丁寧に稲をひとつひとつ植え付けた。「観光される方も増えることが予想されるだけに、丈夫にたくさんのお稲穂がついてほしいですね。」と関係者は豊作を期待した。



前と横を見ながら、しっかり植え付けましょう～

「逆田」で田植え

お知らせ

第27回ツール・ド・おきなわ2015 大会ポスター大募集!

募集期間:平成27年4月1日(水)~5月31日(日)消印有効
 応募資格:県内外を問わず、中学生以上
 応募先:所定の申込用紙に記入し、作品と一緒に郵送もしくは直接持参して下さい。
 (応募先)NPO法人ツール・ド・おきなわ協会 大会ポスター係
 〒905-0009 沖縄県名護市宇茂佐の森五丁目2番地7(北部会館2階)

賞金10万円!!



www.tour-de-okinawa.jp

※公募要項・申込用紙はツール・ド・おきなわHPからダウンロードできます。

お問い合わせ TEL 0980-43-7455 FAX 0980-54-3169 Mail:info@tour-de-okinawa.jp

お知らせ

労働安全衛生法に基づく平成27年4・5月講習会のご案内

講習会名	受講料(テキスト代込)	定員	日時	会場(名護市内)	備考
職長・安全衛生責任者教育	会員 15,552円 非会員 20,952円	40名	4/15(水) 9:00~17:00 4/16(木) 9:00~17:00	北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7)	建設業、製造業、電気業、ガス業、自動車整備業、機械修理業の業種において、職務に就くことになった職長その他の作業中の労働者を直接指導又は監督する者
安全衛生推進者養成講習	12,096円	40名	4/22(水) 9:00~17:00 4/23(木) 9:00~12:00	北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7)	10人以上50人未満の労働者を使用する事業場
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	16,200円	40名	学科 5/11(月) 9:00~17:00 5/12(火) 10:00~16:30 実技 9:00~16:00 5/13(水) 14(木) いずれか1日	北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7)	酸素欠乏や硫化水素中毒が発生しやすい現場の作業に労働者を就かせる場合には「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習」を修了した者のうちから作業主任者を選任し、関係労働者を直接指揮選任等をさせなければならない
玉掛け技能講習	免除有 25,405円 免除無 27,565円	40名	学科 5/26(火) 9:00~17:00 5/27(水) 9:00~16:00 実技 9:00~18:00 5/28(木) 29(金) いずれか1日	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパーク・オキナワ駐車場 (名護市宇名護4607-41)	吊り上げ荷重が1トン以上のクレーン等を使用する場合の、玉掛け業務 ※玉掛け【玉掛け用具を用いて、荷をクレーン等のつり具に掛けたり、外したりする作業】

お問い合わせ先 一般社団法人 沖縄県労働基準協会 北部支部
 〒905-0009 名護市宇茂佐の森5-2-7 北部会館4階 TEL(0980)54-4700 / FAX(0980)52-7004

～地域みんなで支援・見守りを～ ゲートキーパー養成講座

3月3日(火)保健センターホールにおいて、臨床心理士の國井昭男氏(名護療育園)によるゲートキーパー養成講座が開催され、村内40人が受講した。
 ゲートキーパーとは、「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人」のことで、うつやストレスを抱えている人の気持ちを尊重し、じっくり話を聞いてあげ、医療機関など相談できる専門家への“つなぎ”の役割を担う。
 講座では、ゲートキーパー、うつ・ストレスについての説明やコミュニケーションのポイントなどが講義された。



春の全国交通安全運動ポスター

本部地区交通安全協会理事研修実施

本部地区交通安全協会(岸本恵光会長)は、3月20日(金)協会理事の研修及び視察のため伊是名村を訪れた。日中は、小学校付近や港など村内交通量の多い箇所を視察しながら交通安全看板や横断幕を設置して回った。夕方からは、各区長をはじめとする村内団体を代表する方々を交えての研修会及び意見交換会が開催された。この席で岸本会長は「本部地区管内は、皆様のご協力で3月26日には『交通死亡事故ゼロ4年連続』達成を目前としている。しかしながら、伊是名村の飲酒運転検挙率(人口あたりに対し)は近年高い数値となっており、行政を中心に各関係団体皆様にもご協力いただいて、交通安全への意識を高め、尚且つ実行していただきたい。」と語り、交通死亡事故を起こさないために飲酒運転させないことが必要として、村内関係者への協力を呼びかけた。

意見交換会では、村内の状況や協力体制の確認など活発に意見が交わされ、理事からは「協力していただける体制が出来そうで、伊是名に訪れて有意義でした。」との感想があった。一人ひとりが注意して行動し、安全で安心な地域づくりを心がけましょう。

*本部地区管内では、岸本会長を中心とし積極的に交通安全運動を進めてきており、3月26日に『交通死亡事故ゼロ4年連続』を達成しました。



平成27年 本部署定例表彰

2月26日(木)本部警察署において、平成27年本部警察署定例表彰式が執り行われ、本部署管内(本部町、今帰仁村、伊江村、伊是名村、伊平屋村)から8団体と個人16人が表彰された。本村で受賞された方は、伊是名村消防団(伊禮正隆団長)と吉田清美さん、標語の部では伊是名中学校の島袋龍大くん(2年生)と与儀龍杜くん(2年生)。伊禮団長が式典に出席(他3名は欠席)し、宜保了副署長より感謝状が手渡された。受賞者を前に宜保署長は「管内では交通死亡事故ゼロが継続中で、今年の3月26日迄継続すれば4年となる。これも地域の皆様のご協力があってのことです。」と述べられた。

《受賞標語》

- ・守ろうよ 自分の命と 海のマナー (島袋 龍大)
- ・1人では キケンがいっぱい 海や川 (与儀 龍杜)



お知らせ

平成27年度特定健診・長寿健診・がん検診のお知らせ

今年も健診の季節になりました。年に一度は必ず健診を受け、自分の健康管理をしましょう!

行政区	内 容	月 日	場所・時間
伊是名 内花	基本検査項目 胃・大腸がん 胸部レントゲン 喀痰・肝炎	5/19(火)	産業支援センター 午前7時30分～11時まで
仲田 勢理客		5/20(水)	
諸見		5/21(木)	
婦人科検診	乳・子宮がん	5/21(木)	保健センター 午後1時30分～4時まで
		5/22(金)	保健センター 午前8時30分～11時まで

<健診の種類>

①特定健診 40歳～74歳までの国民健康保険加入者 ②長寿健診 75歳以上の方

*40歳未満の方は保険の種類を問わずどなたでも健診を受けることができます。

協会けんぽ加入者は生活習慣病予防健診の事前申し込みを行うと、上記の日程に合わせて島内で健診を受けることができます。詳しくはお勤めの事業所にご確認ください。



平成26年度 伊是名小学校 卒業式

3月19日(木)伊是名小学校(座間味靖校長)体育館において卒業式が行われ、16名の児童が卒業した。

式で卒業証書が一人ひとりに手渡されると、父母への感謝の気持ちと中学校生活に向けての抱負を述べた。

告辞を述べた仲田允碩教育長は「みなさんはこの一年間、最上級生として下級生の模範となりました。数々の学校行事はじめ、日高小学校との交流での貴重な体験はこれからの人生できっと役に立つと思います。培った知識、思いや

り、集団体験を糧として、目標達成のため頑張っていくことが大切です。」と激励した。

卒業生答辞で東江ころろさんは小学校生活6年間を振り返り、楽しかったことや体験したことを語り、終わりに「ありがとう、さようなら伊是名小学校」と結んだ。最後は参加者全員「ピリーヴ」を合唱しました。

*6年間ランドセルを大切に使い続けた「ランドセル賞」を卒業生全員がもらいました。



3月17日(火)幼稚園において修了式が行われ、9名の園児が卒園した。4月から、いよいよ小学校の門をたたき、お兄さんお姉さん達との小学校生活がスタートする。



3月20日(金)伊是名村立保育所において卒園式が行われ、15名の園児が元気いっぱい卒園しました。



操業の安全を祈願する仲田組合長と出席者



この日準備された採れたて早摘みモズク

伊是名漁協 「モズク」操業 始まる!

3月10日(火)伊是名漁業協同組合(仲田吉光組合長)は伊是名モズク加工所において、平成27年産モズク操業祈願祭を執り行い、漁協や村関係者などがモズク操業にあたり安全と豊漁を祈願した。

仲田組合長はあいさつで「モズク養殖業は最盛期に比べると、ここ数年は厳しい状況下にありますが、伊是名村特産品(モズク)最終選別施設を村から指定管理を受け、村水産業の発展に微力ながら取り組んで

います。操業にあたり安全を最優先し、かつ品質・衛生管理を徹底して行い、関係者一丸となって養殖業振興にまい進いたします。」と述べた。

“のどごしが良い”と評判の早摘みモズクは他の産地より1ヶ月早く収穫され、操業期間は5月頃まで予定している。収穫目標はおおよそ1000tを見込んでおり、加工所はこれから数ヶ月繁忙期となります。



島の暦 4月~5月上旬の行事予定

- 4/18 土・伊是名村さとうきびの日
- 19 日・もずくの日
- 25 土・村一斉清掃
・大阪教育大学附属池田中学校 (~27日)
- 29 水・環境の日(環境美化活動)
- 5/9 土・東大阪市立英田中学校 (~11日)